

## ローリー車仕様

車両タイプ	10t	8t	5t
通行許可証区分	大型	大型	大型
長さ	830cm	637cm	621cm
車幅	249cm	232cm	223cm
車高	322cm	316cm	302cm
最大積載量	5.0m <sup>3</sup> /約8,000kg	4.5m <sup>3</sup> /約7,200kg	2.5m <sup>3</sup> /約4,000kg
混練圧送能力	圧送高さ	45mまで(高さの目安: マンション15階程度)	
	圧送距離	30mまで(高さの目安: マンション10階程度)	
	混練能力	100mまで(高さも含む)	
	約4m <sup>3</sup> /時間	約3m <sup>3</sup> /時間	

※年式・車種により多少の差異がありますので、詳細についてはご相談下さい。



ローリー車

※道路使用許可等が必要な場合は事前に行政に許可申請願います。  
 ※ローリー車の仕様は、車種・地域によって多少異なります。

### 注意事項

- 下地が湿潤している時は、施工しないでください。
- 水や砂等、他の材料を混ぜないでください。
- 硬化するまでに激しい通風、直射日光、降雨等の恐れのある場合は、適切な養生を行ってください。
- 気温5℃未満及び35℃超の条件での施工は、避けてください。
- 取り扱いの際には、手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用してください。
- 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動し、水又は温水でうがいをしてください。
- 目に入った場合：清浄な水で15分以上目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けてください。
- 皮膚に付着した場合：汚れた衣服や靴を脱ぎ、付着した部分を水又はぬるま湯で洗い流してください。
- 飲み込んだ場合：水で口の中を洗い、直ちに医者の診断を受けてください。

#### 本カタログ記載内容についての注意事項

- ◆ 本カタログの記載内容は、予告無しに仕様や記載事項を変更する場合がありますので、予めご了承願います。
- ◆ 本カタログ記載の性能、物性等の諸データ値は、弊社実験による測定値であり、その数値、性能を保証するものではありません。
- ◆ 製品の性能は、環境条件や使用方法等により本カタログ記載内容と異なることがあります。事前に使用目的に応じた施工テストを行い、製品の適合性と安全性を確認してください。

日本建築仕上材工業会登録

登録番号	0307367
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問い合わせ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>

東京支店 〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目2番3号 シーバンスS館10階 Tel: 03-5419-6205  
 大阪支店 〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-5-10 梅田パシフィックビル6階 Tel: 06-4309-5826  
 名古屋支店 〒460-0008 名古屋市中区栄3-1-1 広小路本町ビルディング5階 Tel: 052-265-5840  
 広島支店 〒730-0031 広島市中区紙屋町2-1-22 広島興銀ビル8階 Tel: 082-244-7234  
 九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-2-12 メットライフ天神ビル8階 Tel: 092-781-2309  
 東北営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3 鹿島広業ビル8階 Tel: 022-262-6235  
 札幌営業所 〒007-0801 札幌市東区東苗穂 一条1-2-4 4 Tel: 011-784-8183

## MUマテックス株式会社

建材営業部

〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目2番3号シーバンスS館10階  
 Tel:03-5419-6205 Fax:03-5419-6269

<https://www2.mu-cc.com/ubekenzai/>

販売取扱店

## セルフレベリング材



床下地材 速硬・速乾型セメント系セルフレベリング材

# SL70-G

F☆☆☆☆ 適合商品

(NSK自主表示制度に基づく表示)

JASS15 M-103 適合品

SLフロー-GはMUマテックス㈱の登録商標です



MUマテックス株式会社

# SLフロー-G は、パウダーを施工現場で混練し、お客様の必要量だけお渡しするシステムです。

弊社が誇るセメント系セルフレベリング材を、専属オペレーターが現場でフレッシュなスラリーに加工して、お渡し致します。

## 特長

- ① **高品質** 作業性はそのままに、セメント系商品の特徴でクラックの発生原因である収縮率の徹底的な改善を図り、品質規準値の約1/3と大幅な低減を実現しました。
- ② **速硬性** 従来のセメント系SL材に比べ、格段の速硬性を実現。施工約4時間後(標準期)の軽歩行を可能にしました。
- ③ **工期短縮** 従来品に比べ、含水率の低下速度が著しく速いため、早期の仕上材施工を実現しました。
- ④ **経済性** パウダーを専用ローリー車でお持ちし、その場で必要量だけ混練してスラリーをお渡します。材料の過不足がなく経済的です。
- ⑤ **省力化** 専用ローリー車はポンプ、ホース搭載ですので、現場にてモルタルポンプの手配が不要で合理的です。

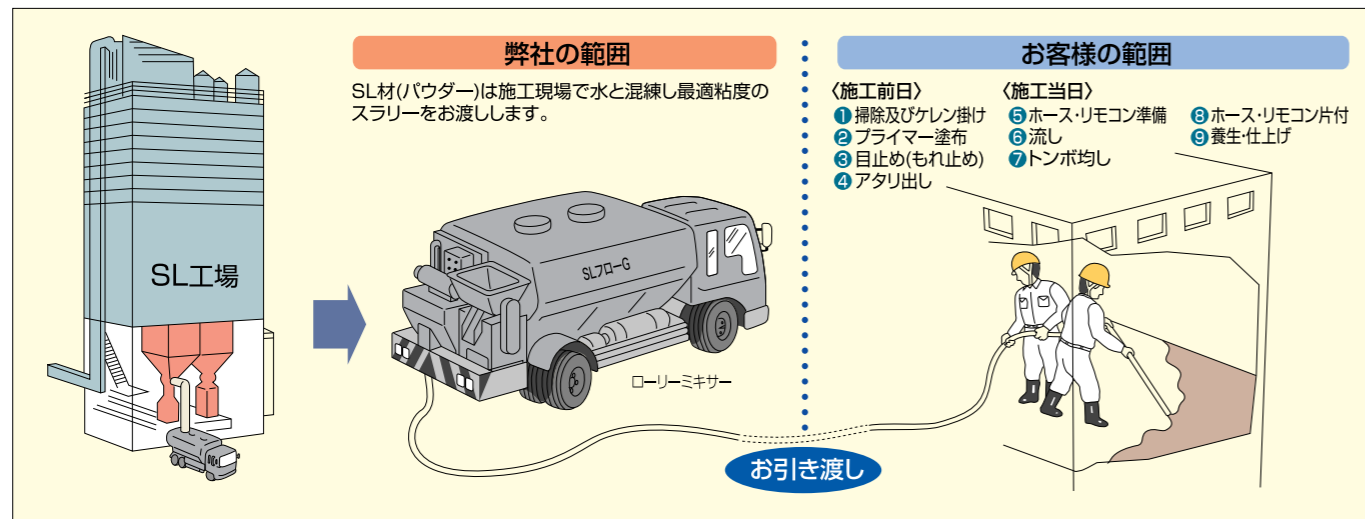
## 用途

SLフロー-Gは屋内用の張り物下地調整材です。

## 施工厚

8~50mm  
 (※7mm以下の場合、レベリング性能が十分に発揮されず平滑に仕上がりません。「床レベラー-G(薄塗用)」をご使用ください。)

## SLフロー-G 販売システム



## SLフロー-Gの使用上の注意事項

### 下地について

- コンクリートは、金ゴテ1回押さえ(防水下地程度)が、適当です。機械ゴテの使用は、接着が不十分になる場合がありますので、弊社までお問い合わせください。
- コンクリートは、打設後1ヶ月以上養生し、乾燥を良く確認してください。下地の水分は、接着を阻害します。
- コンクリート養生剤は、成分により接着を阻害するものがありますので、使用の際には弊社までお問い合わせください。
- 床改修工事の場合は、接着を阻害する古い床材や接着剤を完全に除去してください。

### その他

- プライマーの塗布やSL材の施工は、気温5℃未満では行わないでください。プライマー塗布からSL材の硬化までに気温が5℃未満になると考えられる場合は、適切な採暖を行ってください。
- ローリー車の圧送ホース・リモコンスイッチの段取り・片付けは、お客様にて行ってください。  
 (※特に、リモコン接続コードの取扱いには、ご配慮願います。)
- 屋外や勾配を必要とする床には使用できません。
- ホール・教室等、仕切りのない大面積の施工で、施工厚が厚く(約20mm超)なる場合は、材料の可使時間とスラリー供給量との関係を考慮して、流し込み順序、堰の設置などの施工方法について、事前に充分ご検討ください。

## 施工方法

**施工計画** 施工厚、施工面積、施工回数、施工場所(ホース長・階高)の調査を行ってください。

**使用方法** ※詳しくは、別紙施工要領書を御覧ください。

### ① 混練場

- ローリー車の設置場所を確保してください。
- 現場混練のため安定した上水を支給してください。

### ② 下地調整

- モルタルのこぼれ等凸部はケレン棒等で取り除いてください。
- 雨打たれ等のコンクリート表面の脆弱部分は、取り除いてください。
- 改修工事で張物の接着剤が残っている場合は、取り除いてください。
- 床面に油等の染みがある場合には、取り除いてください。

### ③ 前処理・プライマー処理

- 床面全体を、掃除機又は和ぼうき等で十分に清掃しホコリを取り除いてください。
- 壁と境界部等に隙間がある場合はモルタル等で漏れ止めを行ってください。
- 仕上げレベルの墨出し・アタリの設置を行ってください。
- 施工する面積が広い場合は、1~2m間隔でアタリを設けてください。
- 原則として施工前日に、気泡防止・接着力増強のため、**Uプライマー-G**の希釈液をデッキブラシ・ハケ等で擦り込むように所定量(下表参照)を目安に充分塗布してください。**プライマー処理には専用のUプライマー-Gを必ずご使用ください。**
- 2回目の塗布は、1回目のプライマーが透明になった時点(2~3時間後)で行ってください。

コンクリート・モルタル下地状況	1回目	2回目	塗布量(m <sup>2</sup> /缶)
金ゴテ押さえ(防水下地程度)	3倍希釈液	4倍希釈液	150~200
木ゴテ押さえ、研削床下地	6倍希釈液	4倍希釈液	100~150
雨打たれ下地、ドライアウト、軽量コンクリート下地	6倍希釈液	4倍希釈液	80~100

※雨打たれ下地等気泡発生懸念がある場合、事前のテスト施工をお勧めいたします。

### ④ 混練

- 専属オペレーターが、ローリー車の専用ミキサーにより混練し最適なフロー値で供給します。筒先を移動させながら所定の厚さに流し込んでください。

## 物性値

条件：20℃ — RH65%

項目	単位	結果	公共建築工事標準仕様書 JASS15 M-103 品質規準
比重	スラリー	2.0	
	硬化体	1.9	
フロー値	mm	210±20	190以上
圧縮強度	材齢 7日	22.2	
	材齢28日	26.7	20以上
曲げ強度	材齢 7日	4.9	
	材齢28日	5.2	
凝結時間	始発	1:30	0:45以上
	終結	2:00	20:00以内
下地材との接着強度	養生14日	1.0以上	0.7以上
仕上材との接着強度	養生14日	0.8以上	0.5以上
長さ変化	%	0.034	0.12以下
耐衝撃性	割れ、はがれ	なし	なし
軽歩行可能時間	夏	約3	
	冬	約5	<10mm厚>
表面含水率	1日	8.8	
	3日	6.0	<10mm厚>

※社内試験(及び第三者試験)により規格適合を確認していますが、施工条件及び養生条件等により、必ずしも性能、物性等を保証するものではありません。